

# 未知への領域、アイスからガレ地獄そして縦走

## 松木川黒沢～沢入山～三倉山

日 程 2018年2月12日(月) 日帰り

メンバー CL齋藤 SL上小牧

天 気 曇り時々晴れ

コースタイム 銅親水公園 5:20→黒沢 6:50→F4 滝 9:50→稜線 13:50→沢入山 14:25→駐車場 17:25

山行形態 アイスクライミング、一部ドライ、岩稜、縦走

### 山行記録

いつか黒沢をつめて稜線まで抜けて越えてみたいと思った山行を上小牧さんと達成することができた。黒沢のF4までは特に問題なし。F2上小牧さん、F3齋藤、F4上小牧さんの順に登攀。これ以降は未知への領域に入る。基本的に沢地形が一番顕著なところを進む。F4から標高で100m位アップしたところが一応F5になるようだ。F5の下部は雪渓で埋まっておりCSにさえぎられた枯滝だ。兩岸はボロボロの岩壁で巻くことはできない。抜け道はCS右側の逆層の岩しかない。最初はお互い逆層を三点支持で登ろうとしたが確かなホールドがなく何度か取り付くもいやらしい。結局齋藤がわずかな岩の引っかかりをドラツーフリーで抜ける。多分ここがルートが一番の核心。後続の上小牧さんを確保して抜ける。トポに書いてあるF4以降の滝が実際にあるのかは確認できなかった。ただ滝らしいのはこのCS滝のF5だけであった。1400m付近で左の沢地形が大きいので本流のような感じであったが傾斜が強いので正面の比較的傾斜の緩い沢をつめる。F5以降は上小牧さんが終始トップで行く。さすが上小牧さだと思った。それ以上詰められないところで右の支尾根に移るが源頭部一帯はいつ岩雪崩が起きるか分からないガレ地獄であった。どうやら沢入山の北西の支尾根に入ったようだった。稜線に出れば安全圏かと思いきや支尾根から沢入山までは浮石だらけの岩稜でヒヤヒヤであった。これでもっと沢入山の直下に詰めていたならもっとシビアな感じであったろう。この沢入山からウメコバまでは人が全く入っていないようであった。冬期ならともかく夏場には絶対入ってはいけない領域だ。沢入山には予定より30分程遅れて14時半頃到着、上小牧さんと完登の握手を交わす。あとは稜線上を下るだけだ。下山は中倉山の先の1499mのピークまでは稜線上を行き、そこからは南尾根につけられた登山道を仁田元沢の林道で下りて下山した。

今回はアイス、ドライ、岩稜、縦走と登山の本質をついた山行をすることができた。こんな冒険的登山を一緒にすることができた上小牧さんには感謝である。(記録：齋藤)



F4と上小牧さん



沢入山ピーク



沢入山より丹平治山を望む



沢入山の支尾根の岩稜から沢入山を望む

今回のルート

